

事務事業評価における総括

部 局 名	消防本部	記入責任者	小澤 幸雄
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>消防本部では、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」「部内調整事務」を除く、82事業のうち、66事業が「S」評価となっていることから、おおむね順調に進捗していると考えています。残りの16事業の評価については、「A」評価が3事業、「C」評価が2事業、「Z」評価が8事業、「実績なし」が3事業となっています。</p> <p>「S」評価以外の事業の主なものとしては、警防救命課の移動式ホース格納箱等訓練に関する事業があり、目標とした訓練回数には実績数は満たなかったものの、自治会や消防団との連携は十分取れており、ホース等の取扱技術も向上していることから、成果はあったものと評価し「A」としています。その他、台風の影響により平成29年度は中止となりました消防防災フェスティバル実施事業をはじめ、事業の完了や当該年度中の予定がなかった事業については、「実績なし」と評価しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>警防救命課の消防ポンプ自動車等整備事業では、厳しい財政事情の中で、NOx・PM法で車検が取得できない車両の更新を優先させたため、予定台数分の購入ができず、目標の達成はできませんでした。市民の安全・安心を守るための取り組みとして、消防力の充実強化は必要不可欠であるため、今後も車両や資機材を適切に整備できるよう庁内で連携を図ります。</p> <p>また、主に中核市移行に関連する事業となりますが、平成29年度も未着手で「Z」評価としている事業については、引き続き、庁内の連携を密にして中核市移行時期に合わせて準備を進めます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>今後の方向性として、特に注目すべき事業は、寒川町との消防の広域化の検討で、将来の人口減少・高齢化の進行に備え、消防力の強化と財政負担の軽減の視点から持続可能な新たな消防体制の構築を目指し協議を進めていきます。</p> <p>その他に、火災による被害の軽減を図るための啓発活動や救命に関する知識・技術を市民に広く普及できるよう働きかけ、安全、安心なまちづくりに向けて事業を実施していくとともに、市民サービスの向上につながるようしっかりと計画を立て、政策・施策目標の達成に向けて業務を進めていきます。</p>			